



お元気ですか
志村 たかよし です

第426号 2009年1月25日

日本共産党中央区議団

中央区築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

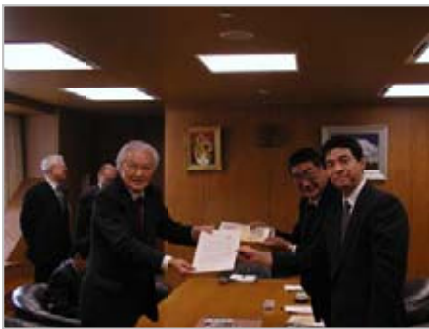
中央区が来年度の経済対策として 共通買い物券の発行拡大、学校給食材料費の補助など発表

前号でお知らせした「第2次緊急経済対策」には、09年度（来年度）における経済対策の考えも含まれていました。

共通買い物券の発行拡大

日本共産党中央区議団が提案し、実現した「共通買い物券（ハッピー買い物券）」は、商店街等の活性化支援とともに、消費者にとっても10%のプレミアム付というところで、たいへん喜ばれています。

昨年は、区が景気対策としておこなった1億円の追加発行がニュースでも取り上げられ、全国的に大



日本共産党中央区議団は、中島つかね衆院東京2区予定候補と、12月24日に「緊急経済対策」を申し入れました。

きな反響を呼びました。

区は、来年度は、これまでの発行額「3億3千万円」を「5億5千万円」に拡大し、景気対策、生活支援を行うとしています。

雇用の促進

雇用については、

●若年層の雇用支援

●高齢者就労支援の充実

●事業の拡大による新たな雇用の創出

などが、あげられていますが、詳しい内容については明記されていません。

現在、中央区職員の四人に一人が非正規職員です。

党区議団は、以前から非正規ではなく正規の職員を雇用するよう求めてきました。

若年層の雇用を支援するのであれば、正規職員の枠を大幅に増やすことがポイントだと思います。

学校給食材料費の補助

昨年、区は学校給食の食材費が高騰した時、給食費の値上げをおさえました。

ひきつづき来年度も学校給食材料費の補助をおこない、給食費の値上げをおさえるとしています。

その他、

商工業融資枠を120億円から150億円に拡大

火災警報器・家具類転倒防止器具設置助成の拡大

区民住宅使用料をはじめとした各種区施設使用料の据え置き

景気回復に向けたにぎわいの創出、観光施策の充実

などがあります。

京華スクエアで「派遣村」労働者を迎えた時の写真が「赤旗」に載りました



派遣村から移ってきた労働者を激励する日本共産党都議ら＝5日、東京都中央区・京華スクエア

日本共産党区議団は1月5日、日比谷公園の「年越し派遣村」を出て、国会へのデモ行進をおこなってから京華スクエアに「引っ越し」てきた労働者を、日本共産党都議団、桑名文彦都議予定候補とともに出迎えましたが、その時の写真が「しんぶん赤旗」（1/17付）に掲載されました。

私（志村）が、日比谷公園でボランティアをしたときに見た労働者の印象は、元気がなく途方に暮れているようでしたが、この日は、不安を持ちながらも、前を向いて歩こうとしている姿に見えました。

その顔を見たとき、**「同情」という感情ではなく、連帯の思いの「お疲れ様」「がんばって！」**という呼びかけと拍手が自然に出ていました。

「たたかい」と「連帯」が、政治を動かし、人をも変えていくのだということを実感しました。



挨拶する桑名文彦都議予定候補（右）と中島つかね衆院東京2区予定候補（左）＝1/18 写真撮影は志村

桑名文彦都議予定候補が、中島つかね衆院予定候補と区内各所で年頭の挨拶
今年七月に行われる都議会議員選挙の予定候補桑名文彦氏は、一月十八日、中島つかね衆院東京2区予定候補とともに区内各所で年頭の挨拶と政策を訴えました。
マンションから手を振りながら「がんばれー」のかけ声があったり、「雇用問題」の話の時には十数人の若者たちが手を振って応援してくれるなど熱い反応がありました。